

# 水稻の硫黄欠乏症の診断基準と 対策を明らかにしました



硫黄欠乏症が発生した水稻と圃場の様子

硫黄欠乏症が発生しやすい水田の基準

項目	基準
土壌	
可給態硫黄含量	20mg/kg未満
灌がい水	
硫黄濃度	3.0mg/L未満

## 開発のねらい

近年散見される水稻の硫黄欠乏症は、茎葉の黄化や生育不良を引き起こし、重度な場合は減収します。そこで、硫黄欠乏症の診断基準と対策を明らかにしました。

## 新技術の概要

- 土壌中の硫黄欠乏症が発生しやすい水田は、土壌中の可給態硫黄含有量が20mg/kg未満かつ、灌がい水中の硫黄濃度が3mg/L未満と考えられます。
- 岡山県内水田の3割程度が硫黄欠乏症が発生しやすいと考えられます。
- 硫黄欠乏症の対策としては、水稻の作付け前に石膏資材（商品名 畑のカルシウム）を10a当たり60kg施用すると欠乏症を防ぐことができます。

## 活用場面

岡山県内の硫黄欠乏域にある水田での欠乏症の改善と、収量低下の抑制が見込まれます。